

ジョリパットアルファ  
JP - 100シリーズ  
スタッコ仕上げ  
施工の手引き

【初版】平成22年4月

アイカ工業株式会社  
化成品カンパニー



## <スタッコ仕上げ施工方法>

### 1. シーラー塗布

配 合	JS - 500	18kg
	清 水	9 ~ 18ℓ
塗 布 量	0.15 ~ 0.2 kg / m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地に最適なシーラーを選定して下さい。  
3時間以上48時間以内

### 2. 主材 下吹き

配 合	JP - 100シリーズ	20kg
	清 水	2 ~ 3ℓ
塗 布 量	0.9 kg / m <sup>2</sup>	
吹 圧 力	5 ~ 7 kg f / cm <sup>2</sup> (0.51 ~ 0.71MPa)	
施工道具	リシンガン 口径 4 ~ 6 mm	

夏期 4時間以上  
冬期 12時間以上  
完全に乾燥したことを確認後、次工程に移って  
下さい。

### 3. 主材 上吹き

配 合	JP - 100シリーズ	20kg
	寒水石 3厘	15kg
	寒水石 5厘	5kg
	清 水	1 ~ 2ℓ
塗 布 量	約3.5 kg / m <sup>2</sup>	
吹 圧 力	5 ~ 7 kg f / cm <sup>2</sup> (0.51 ~ 0.71MPa)	
施工道具	スタッコガン 口径 10 mm 水希釈をあまり多くし過ぎないように 注意する。	

**追いかけて(5分以内)**

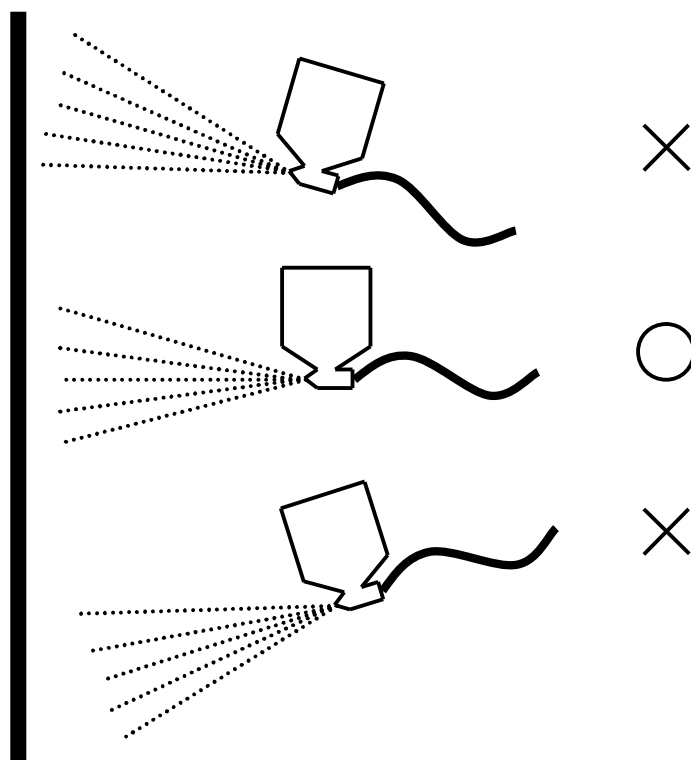
### 4. ヘッドカット(押さえ)

・灯油に充分浸したカットローラー(JR-26、27)で ジョリパットの凸部を軽く押さえる。
--

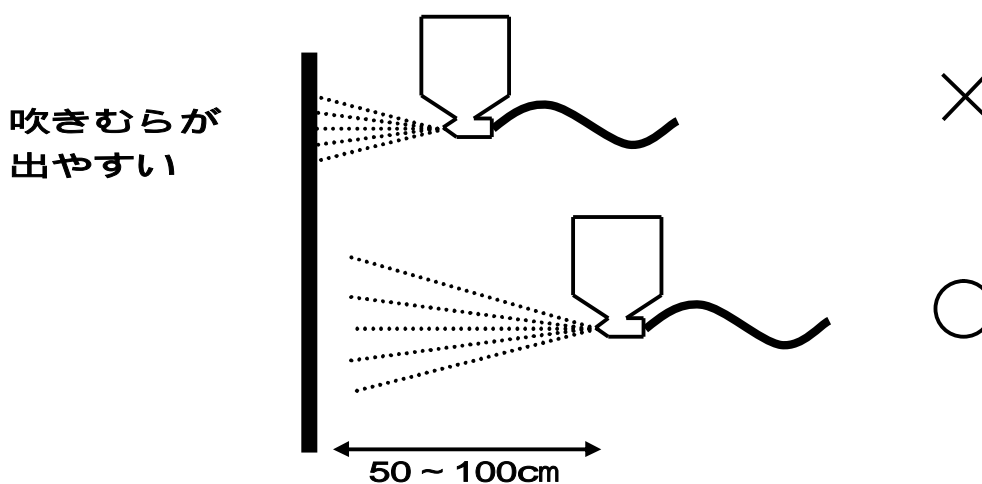
寒水石3、5厘のかわりに市販のミックスサンドも  
使用できますが、見本板とは仕上がりが異なる為、  
注意して下さい。

<吹付け仕上げのポイント>

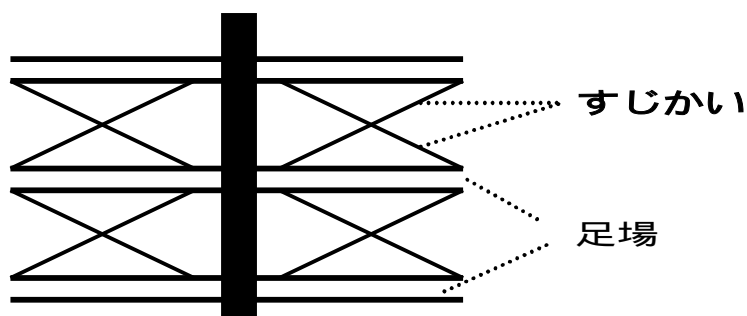
ガンを壁面にまっすぐ向ける。(斜め吹きを避ける)



ガンを壁面に近づけすぎない。



足場のすじかい部分では、吹きムラがでやすい為、特に塗布量には注意する。



- ・斜め吹きする部分が多くなる。
- ・ガンと壁面との距離がとれない。

#### < 施工の注意事項 >

- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し吹きを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 寒水石のかわりに珪砂等を使用しますと、仕上がり時の色が見本板と変わります。珪砂は使用しないで下さい。
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。
- ・ シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・ 施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への施流は避けてください。

見本板は、JF - 3 (寒水石3厘)、JF - 5 (寒水石5厘)を使用しています。寒水石3、5厘のかわりに市販のミックサンドを使用して施工する場合は、見本板とは仕上がりが異なる為、注意して下さい。

以 上